「東伊豆風力発電所」の新設計画について

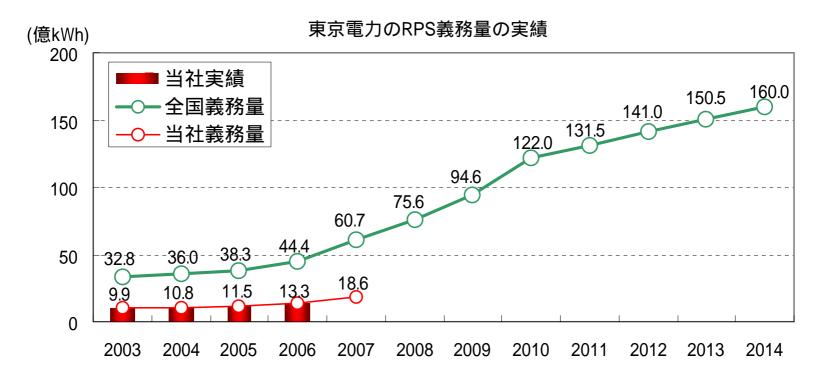
~ 当社初のウィンドファーム建設 ~

平成20年5月15日 東京電力株式会社



当社における再生可能エネルギーへの取り組み

- 東京電力グループでは、中心となる東京電力の電気事業のほか、風力・小水力の発電事業、バイオマス燃料加工など、再生可能エネルギーに関わる多様な事業を展開
- 当社は、当社に課せられたRPS法 による導入義務量を着実に達成



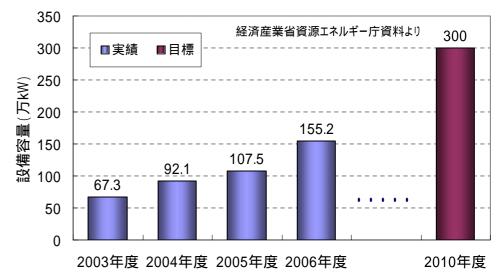
RPS法: 電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法(Renewables Portfolio Standardの略)
電力小売り事業者に対して、販売電力量の一定割合を法律で定められた再生可能エネルギーでまかなうよう義務づける法律
RPS法の対象電源(一部適用条件あり): 太陽光発電・風力発電・中小水力発電・地熱発電。当社の1,000kW超過の水力発電および地熱発電は対象外

当社グループにおける風力発電の導入実績

1. 風力発電の普及状況(全国)

- 全国における風力発電の普及 状況: 約155万kW (2006年度末)
- 全国における2010年度の風力 発電の導入目標: 約300万kW

総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会資料より



2. 自社設備への導入

● 平成12年に八丈島において、日本の電力会社として 初めて、風力発電の営業運転を開始

八丈島風力発電所の概要

所在地	東京都八丈島八丈町(八丈島地熱発電所構内)
最大出力	500 k W
運転開始	平成12年3月



当社グループにおける風力発電の導入実績

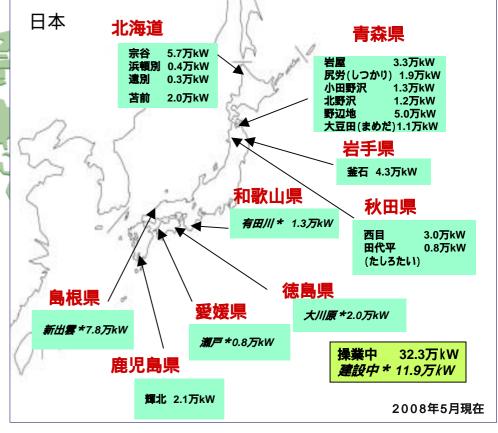
3.グループ会社における風力発電事業

● 当社グループの風力発電事業者(株)ユーラスエナジーホールディングスは、 日本を含むアジア、アメリカ、ヨーロッパの3地域6ヶ国で、総設備容量149万kW の風力発電設備を操業し、日本国内では最大手、世界でもトップクラスの事業者 (2008年5月現在)



株式会社ユーラスエナジーホールディングスの概要

- 設立年月日: 2001年11月1日(2002年9月30日に現商号に変更)
- 株主:東京電力株式会社60%/豊田通商株式会社40%
- 資本金:56億9,920万円
- 取締役社長: 永田 哲朗



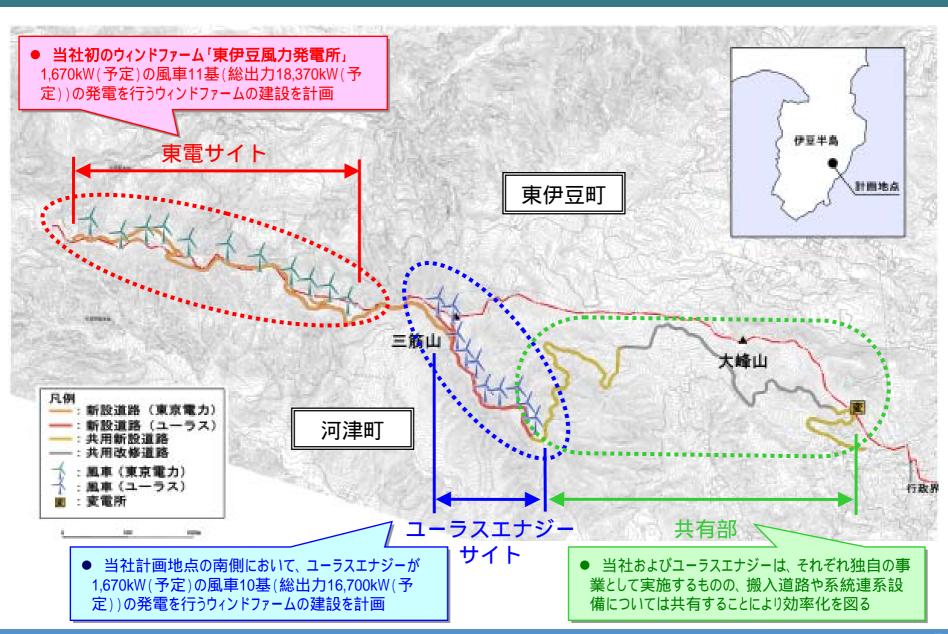
東伊豆風力発電所の新設計画について

- 平成17年より、静岡県東伊豆町および河津町におけるウィンドファーム建設に向けた実現可能性調査を実施 (平成17年3月9日お知らせ済み)
- 本日、「東伊豆風力発電所」の新設計画について、開発地となる静岡県東伊豆町および河津町より同意書を受領
- 本計画は、静岡県東伊豆町と河津町境界に位置する、三筋山山頂付近の風力資源を有効活用し、1,670kW(予定)の風車11基により、総出力18,370kW(予定)の発電を行う当社初のウィンドファーム計画
- 今後、平成23年10月の営業運転開始に向け、建設準備に着手予定
- これによる年間のCO₂削減効果を約13,000トン(試算値) と見込む
- 当社グループのユーラスエナジーも、同地点においてウィンドファームの建設 を計画 (総出力16,700kW(予定)、平成22年運転開始予定)

<u>CO₂削減効果 約13,000トン</u>

- 当社の平成18年度のCO₂排出原単位: 0.339kg-CO₂/kWh、当社の平成18年度の送配電ロス率: 4.8%
- 発電所設備利用率25%と仮定して排出量を試算(開発地近傍の風力発電所の実績値を参考)
- 1,670kW×11基×(1-0.048)×365日×24時間×25%×0.339kg-CO₂/kWh 約13,000トン

東伊豆風力発電所の配置計画図



東伊豆風力発電所の概要および開発スケジュール

1. 東伊豆風力発電所の概要

発電所所在地		静岡県賀茂郡東伊豆町·河津町
発電計画	単機定格出力	1,670kW(予定)
	基数	11基
	総定格出力	18,370kW(予定)
主要機器	風車	水平軸 プロペラ3枚羽 アップウィンド型
	発 電 機	誘導発電機
工事着工予定年月		平成21年4月
運転開始予定年月		平成23年10月

2. 開発スケジュール

<u>許認可·申請関係:</u>

平成20年度上期~平成21年度上期 (森林法、電事法等に関する許認可)

● 建設工事関係:

平成21年度上期~平成22年度下期(道路工事、送電線工事等)

平成22年度上期~平成23年度下期 (風車基礎工事·据付工事、電気設備工事、送電線工事等)